

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

滋企浄 206 号
令和5年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県野洲市吉川3382

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
滋賀県企業庁
企業庁長 東郷 寛彦 (公印省略)

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、 [事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	滋賀県企業庁 企業庁長 東郷 寛彦
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県野洲市吉川3382

1 事業者の概要

事業所の名称	滋賀県企業庁 馬淵浄水場					
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市馬淵町1875					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	3	6	1	1	上水道業
事業の概要	水道用水供給事業					
従業員の数	9	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	台	その他	送水設備 高圧電動機 5台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和3	年度	報告対象年度	令和4	年度
	終了 年度	令和4	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

滋賀県企業庁は「信頼の水で、地域の未来に貢献します」を基本理念とし、持続可能な未来のために、環境に優しい水道づくりから低炭素社会に貢献していきます。

①エネルギー消費量の削減に向けて

- ・中長期的な計画に基づくエネルギー削減の推進に努めます
- ・設備の更新等において、省エネ化を実現できる設備の選定に努めます
- ・再生可能エネルギーについて、採算性を勘案し、導入に向けた取り組みを行います

②リサイクル推進に向けて

- ・浄水発生土や建設副産物の有効利用を図ります
- ・リサイクル商品やエコ商品を積極的に活用します

別添の管理体制を参照のこと

2 取組の推進体制

別添の滋賀県企業庁エネルギー管理体制を参照

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・滋賀県環境マネジメントシステムの導入
- ・汚泥脱水移動式自然乾燥装置の導入
- ・排水処理設備ハトップランナー変圧器の導入
- ・空調設備を高効率PAC分散設置型へ更新
- ・ろ過池洗浄水の給水方式の変更
- ・長福寺マイクロ水力発電の導入

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明設備修繕工事による省エネ化	令和3年度～令和4年度	継続中
2	運用改善	浄水場間連絡管の効率的運用	令和3年度～令和4年度	継続中
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>当庁におけるエネルギー(主として電力)の使用量については「送水流量」が最も強い相関性をもっておりますので、「送水流量」を原単位の指標(分母)の設定いたしました。</p> <p>なお、実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス排出量の算定にあたっては、電気のコ₂排出係数(電力原単位)は基準年度の係数0.311に固定して算出を行います。</p>	<p>令和4年度の温室効果ガスの排出量は基準年(平成22年度排出係数で計算)を9.6%減少した。事業者行動計画書の目標設定に対する「原単位」は、前年度と比較して0.9%増加した。理由は、前年度のR3は、更新工事により馬淵浄水場の能力が半分となり、不足分は他の浄水場より水融通を行っていたが、R4年度は工事が終わり通常運用となり、馬淵浄水場の負担が戻ったため。</p> <p>平成22年度 CO₂排出量: 2992t-CO₂ 令和4年度 CO₂排出量: 2704t-CO₂ ※CO₂排出係数は平成22年度の0.311kgCO₂/kWh</p> <p>令和3年度 送水流量 18,788,718 使用電力量 8,534,459 電力原単位 0.454</p> <p>令和4年度 送水流量 18,932,334 使用電力量 8,671,760 電力原単位 0.458</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(令和3)年度	(令和4)年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	2,271	2,141	2,176			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	3,431	3,859	3,720			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	3,431	3,859	3,720			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.1143	0.1139	0.1149			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
				()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	その他	琵琶湖森林づくりパートナー協定に基づく森林づくり活動を実施し、水源地の森林保全および整備を図る	R3年度～ R4年度	予定通り実施
2	その他	小学生向け浄水場見学会・学校での水道出前講座、夏休み自由研究講座等を順次実施し、水道についての啓発活動を通して、水質保全の重要性について理解を深めてもらう	R3年度～ R4年度	新型コロナウイルス感染症予防対策のため浄水場見学等実施できなかったが、浄水場の仕組みについての動画配付を実施
3	グリーン購入	グリーンオフィス滋賀、滋賀県環境マネジメントシステム等の滋賀県の取り組みへの参加を行う	R3年度～ R4年度	予定通り実施
4	3R	浄水処理発生土をセメントや粒状改良土の原料として有効活用を行う	R3年度～ R4年度	予定通り実施
5	3R	建設副産物の再利用の推進を行い、資源の有効活用を図る	R3年度～ R4年度	予定通り実施